

目 次

附属図書館長に就任して  
図書館の利用について  
アンケートにお答えします その1  
図書館講演会を開催  
資料紹介「中世の食卓から」  
1999年外国雑誌情報  
鳥取ライオンズクラブ寄贈図書  
ミニシリーズ・情報検索コーナー その6  
(図書館所蔵CD ROM)  
平成11年度図書館カレンダー(その1)

## 附属図書館長に就任して

木 地 實 夫

思えば鳥取大学に赴任して、はや二十数年になります。着任して間もなく工学部の図書館委員を2年間務め、図書館の運営に関係した以外は、専ら図書館を利用する立場でした。今回、甲元前図書館長の後任として、平成11年1月1日付けで附属図書館長を拝命しました。大学改革が急ピッチで進行し、情報処理・利用の進歩は目まぐるしく、大学図書館の機能も激しく移行行くなかで、附属図書館長としての重責をひしひしと感じ、身の引き締まる思いで就任しました。鳥取大学の図書館もこのような時代に即応した情報提供サービスのできる体制を整備しつつあります。しかしながら利用される立場からみれば、必ずしも思惑通りにはゆかない面が多々あるかと思えます。私も今まで専ら図書館を利用している立場のときは、もう少し図書が完備していれば、というやるせない思いと、こんなもので止むを得ないという諦めの気持ちが交錯していました。自己点検を兼ね、昨年利用者アンケートを実施し、いろいろなお意見をいただきました。この機会に、図書館が今までに行なってきたこと、今後行なおうとしている将来計画について、私見を交えながら説明させていただきます。

一般教養や専門領域を勉強する際、興味の対象を幅広く知りたいという場合と、深く掘り下げたいという場合があります。いずれの場合でも、図書館へ行って調べることから始めま

す。図書館としては、このような学生の勉学意欲を満たすべく支援してゆく必要があります。ところで学生のアンケートには、参考図書、一般教養図書類が少なく、本が破損しているという意見がかなりありました。なんとか図書を充実させたいとして、毎年、学生用図書に予算を組み購入しているところですが、なかなか追いついていないのが現状です。利用者の要望に十分応えられておりません。平成10年度に人文系共通基本図書を重点的に整備しました。今後とも学生用図書を充実することが重点項目の一つです。また、図書資料の遡及入力もまだ完了しておりません。何をどこまで遡って入力するかも今後の検討課題です。

アンケートには、開館時間の延長、休日の開館の要望の声がありました。他大学と比べても、まだその対応が遅れています。幸いにも医学部分館に自動



貸出・返却システムが導入されることになりました。24時間開館への足掛かりが一つできたこととなります。しかしまだ、図書館の情報提供サービスには取り組まなければならない問題がいくつかあります。経費削減の折りどう対処するか、模索を続けております。

次に図書館として地域社会との連携も重要な問題です。県内図書館の相互貸借、蔵書探索ができるように、県内図書館ネットワーク構築に向けた協議が行なわれています。また、生涯学習社会への対応策の一つとして、学者への圖書の貸出を始めております。

「書籍文化」か「デジタル文化」か、最近の図書館はこの議論に少なからず関わらざるを得ません。電子情報技術の目まぐるしい進歩で、地球規模で大量の情報が瞬時に交換できるようになりました。情報伝達に距離感がなくなりました。また、本屋や図書館に行って、資料を探す必要性がなくなりつつあります。おおよそ研究に携わるものは、その分野の情報を収集することは、重要な作業の一つであります。とくに自然科学の分野では、新しい情報がつぎつぎに生まれており、情報収集は極めて大切であります。研究成果の原報が載る一次文献（学会誌など）には研究者が必ず目を通さなければならないものがいくつかあります。多くの大学では、かなりの学術誌が研究者の近くに置かれております。このところ学術雑誌の購読料が値上がりする一方で、決して下がることがありません。これが少ない研究費を圧迫し続け、毎年更新手続きのときに継続か、購読中止かの瀬戸際にたたされます。そこで、図書館に集中管理すれば、重複が避けられて、購読料の節減につながるのではないかという考えがありますが、収容スペースの問題、手許に雑誌がなくなるという問題等があり現実的にはむずかしい点があります。今では論文の全文をデータベース化してオンラインサービスしている学術誌もあります。本学医学部の分館でも、Yonago Acta medica の論文の全文をデータベース化して、学術情報として発信しています。しかし、一般の論文誌の電子ジャーナル化はまだまだ普及していません。今後は電子ジャーナルの導入も検討

しなければならないでしょう。

二次情報誌は、遡及探索，網羅的探索には欠くことができません。私の専門とする化学の分野では、世界最大の二次情報誌として、ケミカルアブストラクトがあります。対応するオンラインサービスやCD-ROM版もあります。現在、冊子体の購読を続けています。受益者負担の原則で購読料を賄っておりますが、購読料の値上がり、為替相場の変動等で、これも大分以前から購入継続が危機的な状況にあります。もう一つの代表的な二次文献として、Current Contents があります。昨年秋に学長裁量経費の援助を受け、フルセクション（7分野）が学内のどこからでもオンラインで探索できるようになりました。しばらくの間、全学的に予算を割いていただき、引続き購入する予定であります。この情報探索支援システムを大いに活用していただきたいと思っております。このように学術文献は今後冊子体、CD-ROM、オンラインとさまざまな情報媒体で利用できるようになることと思いますが、これらは互いに有機的なシステムをつくって初めて、研究の発想、支援に大きな力を発揮してゆくことでしょう。情報化時代の現代、情報をうまく利用することは研究を進めるための必須条件であります。学術情報探索についてどのようなシステムを構築してゆくか、各研究分野で研究者に選択が迫られています。積極的なご意見をお寄せいただきたく思っております。

平成11年度に本学の情報処理センターが総合情報処理センターとして新たにスタートすることになっております。これを機会に、総合情報処理センターに協力をお願いしつつ、グローバル化している情報の探索のために、電子図書館の機能を充実、強化し、学術情報基盤の整備を積極的に推進する予定です。機種を更新、端末機を増設して整備する計画を進めております。

さて、最後に図書館本館の建物についてであります。現在の建物は、2度にわたる増改築を経て現在に至っております。既に収容能力が飽和状態に近づいています。また、座席数など決して満足のゆく状態ではありません。数年前、学長の諮問に応じて図書館の将来構想検討委員会が発足して、鳥取大学の

21世紀における教育・研究活動を支援する施設をめざした、図書館の新築を含めた将来像が検討されてきました。本館建物については引続き検討が加えられ、昨年秋、約2000㎡増築を含む増改築計画の青写真が出来上がりました。国の財政事情が逼迫した厳しい状況が続いていますが、本学の窮状を訴えつつ、一日もはやく増改築が実現するよう、努力してゆきたく思っております。

以上、日頃思っていること、図書館の現状、計画

などないまぜに、図書館長就任にあたり書かせていただきました。アンケート結果、外部評価を大いに参考にして、21世紀にふさわしい図書館の実現に努力する所存であります。これには、全学の理解と協力を得なければなりません。2年間微力を尽くす所存ですので、皆様のご理解、ご協力、ご鞭撻を切にお願いする次第であります。

(工学部教授 機能材料化学)

## 図書館の利用について

### 1. 新入生のみなさんへ

ご入学おめでとうございます。

実り大きな大学生活を送るためにも、積極的な図書館利用をお勧めします。

ここでは図書館利用のうち、主なことを案内いたしますが、詳しくは「図書館利用案内1999」をご覧ください。

#### (1) 開館時間

平日	9時～20時 春季、夏季、冬季休業日は、9時～17時
土曜日	10時～17時 春季、夏季、冬季休業日は、閉館
日曜日 及び休日	10時～17時 ただし、定期試験期間のみ開館

#### (2) 休館日

日曜日(定期試験期は除く)

国民の祝日に関する法律に規定する休日(定期試験期は除く)

本学の記念日(6月1日)

年末年始(12月28日～翌年1月4日)

春季、夏季、冬季休業日の土曜日

その他、臨時に休館するときは掲示等でお知らせします。

#### (3) 入退館

原則として荷物の持込みは自由です。

一般常識として図書館ではいけないこと(飲食・大声での雑談など)に対しては、マナーを守ってください。

又、図書等資料を汚損・紛失すると弁償してもらわなければなりませんので、そのようなことのないよう大切に扱ってください。

#### (4) 図書館利用者カード

交付

学生証に図書館利用者IDNo.が併記されています。学生証の受取が同時に図書館利用者カードの受取となります。

注意すべきこと

借りている図書を延滞したり、紛失したりすると、借用時に使用した利用者カードの持ち主が責任を負うこととなります。利用者カードを又貸したり紛失したりしないよう、取扱いには注意してください。

再発行を受けた学生証の図書館利用者IDNo.貼付は、図書館カウンターで行います。お申し出ください。

#### (5) 貸出・返却

貸出：学部学生の図書の貸出冊数は5冊まで、大学院生は10冊まで。貸出期間はどちらも14日間です。

返却：期限内にカウンターまで持参してください。閉館後ならば図書館玄関脇のブックボ

ストに投函してください。

#### (6) 更新・罰則

更新：図書は1回だけ貸出期間を延長出来ます。  
持参してカウンターで手続きしてください。ただし、返却期限をオーバーした場合は更新出来ません。  
罰則：返却期限をオーバーした日数分貸出停止になります。

#### (7) 閲覧

開架閲覧室にある図書・雑誌は、自由に手に取って見ることが出来ます。  
郷土資料等別置資料の利用に関しては、1階のカウンターにお申し出ください。  
図書館内で利用した図書・雑誌等資料は元の場所に戻してください。

### 2. 教職員・研究生等のみなさんへ

(新入学の学部学生・大学院生以外の利用者)

#### (1) 図書館利用者カード

図書館1階のカウンターで、利用者カード交付申請書を記入・提出されますと後日発行します。

取扱いの時間は平日の9時～12時、13時～17時です。

#### (2) 貸出・返却

貸出：教職員・名誉教授の図書貸出冊数は15冊まで、期間は30日間です。  
研究生・聴講生等の図書貸出冊数は5冊まで、期間は14日間です。  
返却：新入生の項と同様です。

### 3. レファレンス

文献複写・資料の探し方・端末の操作等、図書館の利用についての質問は、1階カウンターで受けております。お気軽にお尋ねください。

### 4. ご意見・図書等の購入希望

2階ホールに投書箱「図書館の窓」と「購入希望図書記入用紙」を設けていますので、ご意見やご要望をお寄せください。

図書館をより一層充実させるために、利用者のみなさんの声をお待ちしています。

## アンケートにお答えします

### その1

1998年10月に実施しました「図書館利用者アンケート」の集計結果は図書館ホームページで報告しておりますし、冊子も刊行されました。現在図書館では、蔵書の整備、開館時間の拡充、施設・設備の整備について図書館委員会等で協議を進め、利用者の要望を実現すべく努力中です。

ここでは、利用者に直接関わる担当係として、主な指摘事項に対し簡単な回答を2回にわけていたします。

#### 1. 開館時間

要望	24時間開館	年中無休	開館時間延長
----	--------	------	--------

回答 開館時間の延長、休日開館の実施に向け現在検討中です。実現のためには、経費の問題があり、全学的な理解と支援が必要になります。

#### 2. 貸出

要望 期間延長 冊数増加 O P A C と貸出情報の連動

回答 学部学生の方が5冊(現行の貸出限度冊数)を2週間(現行の貸出限度期間)借りていて、継続更新を一回すると更に2週間、おおよそ一ヶ月独占することになります。他の人のことを考慮すると、現状が限度ではないでしょうか。

については、次期電算機更新時には対処したいと思います。

### 3. 騒音

要望 静かな図書館にして( 大声迷惑(貼り紙・館内アナウンスは効き目なし) 談話室化している 携帯電話がうるさい)

回答 大声・騒音を出すことが平気な大学生に、マナーの悪さを定期的に注意して歩くことにも限度があります。「他人への迷惑」「場所柄」を、利用者一人一人が自覚してください。

### 4. 閲覧施設

要望 個室 グループ学習室 広く高く色調良く使い勝手の良い図書館 書庫の増改築 明るい図書館 閲覧座席の増設 飲食場所の設置 視聴覚室の充実

回答 図書館の増改築の実現に向けて検討を進めています。

は、節電を心がけながらも暗い閲覧室にならぬよう、点灯に気を配ってゆきたいと思います。

現状では、書架・端末機の増設と の閲覧用座席の増設を調整するのはなかなか困難な問題ですが、ソファ・椅子を一部更新し環境整備を図りつつあります。

についてですが、現在館内は飲食禁止になっています。食物放置によるゴキブリ等の害虫の発生・増殖の防止という資料保存上の問題や、衛生上の問題、また快適な学習環境の保全というのがその理由です。皆さまのご協力をお願いします。館内利用のための視聴覚室の充実・機器の充実を計画的に図り、 の要求に応えたいと思います。

### 5. 空調

要望 適切な温度の冷暖房入力による快適な環境

回答 現在の空調機は、ひとつのスイッチがカバーする範囲が1・2階の縦方向であった

り横ならび方向の二つの閲覧室であったりと非常に変則的であること、強力な書庫用と閲覧室用は全く別のシステムであること、そして、両システムともこまめな温度調節は全くできず、スイッチを入れるか切るかの二者択一しかできないものであることから、場所によっては非常によく効き、他の場所はさほどではないという現象になっています。

こまわりよく快適に空調を整えるためには、ある程度仕切りのある閲覧室にすること、その仕切り単位で調整できるような空調設備に替えることが必要です。冷暖房の使用規定は昭和63年に設けられているのですが、個人生活が快適になっている現在では、使用規定が相対的にきついものを感じられているのではないかと思います。経費の問題はありますが、可能な限り要望にそよう努力します。

### 6. 配置・案内・サイン

要望 書架の整理 わかりやすく詳しい資料配置図 2階にも専門辞書を

回答 とんでもないところにまとめて本を置いているなど、あまりにも自分本位の利用者が多くなった感があります。本にはあってあるラベルの記号(請求記号)順に本は配架されていますので、手に取った本は、ラベルの一番上の番号を手がかりに書架へ返してください。十万冊以上並ぶ開架図書は、利用者一人ひとりの協力が必要です。

については、現状は確かにわかりやすいとはいえ、改善を検討しています。

については、第一閲覧室と重複している辞書は貸出できるように一般図書と一緒に配架していますが、冊数は多くありません。予算・スペースを考慮しますと、現段階では一階の禁帯出辞書の利用をお願いします。

## 7. OPAC

要望 操作方法が不明 使い方を平易に  
説明会をもっと開催して 蔵書・雑誌のオンライン検索

回答 定期的に説明会を開催しているのですが、残念ながら参加者は多くありません。利用者の積極的な参加を希望します。マニュアルのわかりにくい点は担当係におたずねください。OPACの簡単な操作方法を説明しましょう。

(1) 和図書・洋図書・和雑誌・洋雑誌のいずれかを選択

(2) フリーワード欄に手掛かりになる言葉を、通常使う文字で入力

参考までに

- ・ ALT + 半角 = かな⇄英数
- ・ かな表示の状態 + F7 = カナ

(3) (2)の文字列を書誌データのどこかにもつ資料が一覧表示される

(4) (3)で表示された件数が多い場合は、「絞り込み検索」キーを押し、限定するための手掛かりをフリーワード欄に入力

(5) 見たい資料の文書IDをクリック

する

(6) 資料ID, 館名, 配架場所, 請求記号が詳細表示される

(7) (6)において「図本開架」と表示されている資料が貸出できる本です。請求記号を手掛かりに探してください。

このOPACは公開されていますので、インターネットで図書館のホームページに入れば、利用できます。アドレスは、<http://www.lib.tottori-u.ac.jp> です。

## 8. 図書【1】

要望 古い 買い替えを求む

回答 現在、開架書架から発行年の古い図書・破損のひどい図書を撤去し、同時に利用の多いものは買い替える作業を行っています。

< 以下次号 >

(資料サービス係)



## ミニ・トピックス

## 図書館講演会を開催

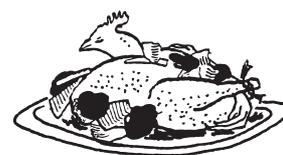
### 黒澤九芸大教授が著作権問題で講演

平成10年12月3日、九州芸術工科大学の黒澤節男教授を講師として招き、大学をめぐる著作権問題に関する講演会を開催しました。

著作権制度の概説及び最近問題となっている大学におけるさまざまな著作権問題について、研究室における文献複写、授業・会議等での複写物の配布、図書館における文献の複写、紀要等へ掲載した論文の著作権、ホームページ上での著作権問題、電子図書館化を進めるに当たっての著作権処理などさまざまな具体例を話題として示唆に富んだ講演が行われました。図書館職員のほか、院生、教官等が参加し、著作権及び著作権問題について、最新の動向を含めた知識と理解を深めることができ、講演終了後も熱心な質疑応答が続きました。

～ 資料紹介 ～

石井美樹子著  
**中世の食卓から**  
 筑摩書房 1991



活字で提供する場合以上に、映像や舞台などで直接背景を具現化して視覚に訴える時には、時代考証は必須のものである。

登場人物が日本髪を結い着物姿である故に時代劇と錯覚されるテレビドラマも、住居、風俗、言語等において時代考証がなされていなければ、中身は現代ものの焼き直しでしかなく、決してその時代を描いているとはいえない。

12世紀のイギリスの修道院を舞台にしたテレビドラマには、電灯のない時代の夜の暗さと脅威があり、映しだされる当時の城、住居、服飾、風習には時代考証の確かさが感じられた。そのなかに、賑やかな婚礼の宴会シーンがあった。

食べているものはナニ？

ここで標記の本との出会いとなり、素朴な疑問はすぐに解決された。が、この本のおもしろさは単に食卓上で終わらないことであり、食に端を発する歴史事実や食材や食器が持つ宗教的なシンボルにまで言及していることである。

内容を抜粋すると、12世紀のパリでは巷に豚が横行し、それ故にアンジュー家の若きプリンスが命を落したこと、それが遠因となりしかもウナギまで加担してプランタジネット王朝が成立したというくだ

りは、人間の根源に関わる食の因縁をみせつけてくれる。四旬節のニシンや復活祭の卵、アダムとイブの昔から登場する生命の木りんごをめぐる話。おいしいものは手づかみでといったテーブルマナーに、サラダは確かにあったけれど、現代と同様の市民権を得ていた訳ではなく、聖なる液体エールに蔑まれていたのはビールであったという。食事は dinner と supper の一日2回。しかも dinner は朝の労働を終えた正午から午後3時の間に摂り、太陽が沈んでから摂る軽い食事が supper、今でいう朝食は存在しなかった。

太陽と共に行動する勤勉な中世は飢えの中世でもあった。残りの食べものを臣下に分け与えるのが義務の領主は、そのこと故に太っている人が歓迎されたという。スリム志向の現代と全く逆であるが、それぞれの時代・文化に立脚してのことである。

「食べるという行為は精神のありように深くかかわることであり、魂の涵養とは不可分の間柄にあることを思い知る」(著者あとがき)

時代考証とは決して「型」だけの話ではないのである。精神も含めて、対象となる時代の文化すべてを理解することなのである。食から切り込んだ中世入門書として、まさにおすすめの一冊である。

## 1999 年外国雑誌情報

### 【新規購入雑誌】

Animal Conservation.	イギリス	教	鶴崎
Annales Scientifiques de l'Ecole Normale Supérieure.	フランス	工	知能情報
Bronte Society Transactions.	イギリス	教	岩上
Bulletin de la Société Mathématique de France.	フランス	工	知能情報
Communications in Mathematical Physics.	ドイツ	工	知能情報
Culture & Psychology.	イギリス	教	高取
Disability & Society.	イギリス	教	横須賀

Disability Studies Quarterly.  
Economics Letters.  
For the Learning of Mathematics.  
Fungal Genetics and Biology.  
Games and Economic Behavior.  
Gastroenterology.  
IEEE Transactions on Speech and Audio Processing.  
International Journal of Game Theory.  
International Journal of Life Cycle Assessment.  
Journal of Agricultural and Food Chemistry.  
Journal of Applied Econometrics.  
Journal of Environmental Quality.  
Journal of Group Theory.  
Journal of Legal Studies.  
Journal of Mathematical Behavior.  
Le Nouvel Observateur.  
Lire.  
Molecular Plant-Microbe Interactions.  
Neurology.  
New Zealand Books in print.  
Plant Molecular Biology.  
Regional Studies.  
Sport : a Literary Journal.  
The Economist.  
Times Literary Supplement.  
Transportation Research Part F.  
Urban Geography.

py

## 【中止雑誌】

American Journal of Mathematics.  
Anthropos.  
Applied Microbiology and Biotechnology.  
Archives of Biochemistry and Biophysics.  
Australian Veterinary Journal.  
British Journal of Psychology.  
Bulletin de Psychologie.  
Canadian Journal of Botany.  
Caryologia.  
Child Development.  
Compositio Mathematica.  
Current Contents : Engineering, Technology and Applied Science.  
Elemente der Mathematik.  
ELT Journal.  
English for Specific Purposes.  
Esquire.  
ETZ : Elektrotechnische Zeitschrift.

アメリカ	教	横須賀
オランダ	農	松田
カナダ	教	矢部敏
アメリカ	農	甲元
アメリカ	工	社会開発
アメリカ	農	家畜薬理
アメリカ	工	知能情報
アメリカ	工	社会開発
ドイツ	工	機械工学
アメリカ	教	石川行
イギリス	農	松田
アメリカ	教	吉田勲
アメリカ	教	加藤
アメリカ	農	飯山
アメリカ	教	矢部敏
フランス	教	門田
フランス	教	松本雅
アメリカ	農	甲元
アメリカ	教	小枝
ニュージーランド	教	Richards
オランダ	農	田辺
イギリス	工	社会開発
ニュージーランド	教	Richards
イギリス	教	Richards
イギリス	教	Richards
アメリカ	工	社会開発
アメリカ	教	小玉
ロシア	教	山口

アメリカ	教	矢部敏
スイス	教	茨木
ドイツ	工	生物応用 生化学系
アメリカ		
オーストラリア	農	家畜病理
イギリス	教	広重
フランス	教	高取
カナダ	農	甲元
イタリア	教	藤島
アメリカ	教	石岡
オランダ	教	小島
アメリカ	工	知能情報
スイス	教	栗林
イギリス	教	Richards
アメリカ	教	筏津
アメリカ	教	Richards
ドイツ	工	電気電子

European Journal of Plant Pathology.	アメリカ	農	甲元
Guardian Weekly.	イギリス	教	Richards
IBM Journal of Research and Development.	アメリカ	工	電気電子
IEEE Transactions on Circuits and Systems. Pt. 2	アメリカ	教	中西
IEEE Transactions on Magnetics.	アメリカ	工	電気電子
IEEE Transactions on Neural Networks.	アメリカ	教	中西
IEEE Transactions on Ultrasonics, Ferroelectrics & Frequency Control.	アメリカ	工	電気電子
Infant Behavior & Development.	アメリカ	教	石岡
Infection and Immunity.	アメリカ	農	家畜微生物
International Journal of Intercultural Relations.	アメリカ	教	筏津
Journal of American Planning Association.	アメリカ	工	社会開発
Journal of American Studies.	イギリス	教	Richards
Journal of Bacteriology.	アメリカ	農	家畜微生物
Journal of Infectious Diseases.	アメリカ	農	家畜微生物
Journal of Magnetism and Magnetic Materials.	オランダ	工	電気電子
Journal of Mathematical Economics.	スイス	工	社会開発
Journal of Plant Growth Regulation.	アメリカ	農	田辺
Journal of Second Language Writing.	アメリカ	教	Richards
Journal of Wood Chemistry and Technology.	アメリカ	農	作野
Kant-Studien.	ドイツ	教	高階
Lighting Design & Application.	アメリカ	工	電気電子
London Review of Books.	イギリス	教	Richards
Mathematische Annalen.	ドイツ	教	栗林
Mycologia.	オランダ	農	甲元
Mycological Research.	イギリス	農	甲元
Nouvelle Revue Francaise.	フランス	教	門田
Optics and Spectroscopy.	アメリカ	教	物理学
Pacific Journal of Mathematics.	アメリカ	教	矢部敏
Philips Journal of Research.	イギリス	工	電気電子
Philosophy and Phenomenological Research.	アメリカ	教	高階
PMLA : Publications of Modern Language Association of America.	アメリカ	教	Richards
Proceedings of American Mathematical Society.	アメリカ	教	栗林
Research in Veterinary Science.	イギリス	農	家畜病理
Review of Scientific Instruments.	アメリカ	工	電気電子
Scholastic Choices.	アメリカ	教	鳥井
Second Language Research.	イギリス	教	Sheen
Simulation.	アメリカ	工	電気電子
Soil Technology.	オランダ	乾	井上
Studies in Art Education.	アメリカ	教	島崎
Sunday Times of London, with Colour Magazine.	アメリカ	教	Richards
Techniques.	アメリカ	教	鳥井
Transactions of American Mathematical Society.	アメリカ	教	矢部敏
Trends in Pharmacological Sciences.	オランダ	農	家畜薬理
Utne Reader.	アメリカ	教	Cates
Veterinary Bulletin.	イギリス	農	家畜病理
Zeitschrift fuer Philosophische Forschung.	ドイツ	教	高階

## 鳥取ライオンズクラブから 図書のを寄贈を受けました

平成9年度に引き続き、鳥取ライオンズクラブから図書の寄贈を受けました。

この資料は、本学の外国人留学生のみなさんの充実した学生生活を助成するために寄贈されたものです。  
2階の日本紹介コーナーに配架していますので、是非ご利用下さい。以下のリストは書名のABC順です。

### 鳥取ライオンズクラブ寄贈図書リスト（平成10年度分）

編 著 者	書 名	発行所・発行年	冊数
影山太郎	文法と語形成（日本語研究叢書 第2期 第4巻）	ひつじ書房 1993	1
油谷幸利	朝鮮語入門 第1巻	ひつじ書房 1996	1
Ferber, Gene	英和 和英コンピュータ用語辞典	チャールズ・イー・タトル 1990	1
中島平三	ファンダメンタル英語学	ひつじ書房 1995	1
佐治圭三	外国人が間違えやすい日本語の表現の研究	ひつじ書房 1992	1
堀口和吉	「～は～」のはなし	ひつじ書房 1995	1
Spahn, Mark et al.	漢英熟語字典	チャールズ・イー・タトル 1996	1
内田慶市ほか	マックで中国語	ひつじ書房 1996	1
つくば言語文化フォーラム	「も」の言語学（Hituzi linguistics workshop series 3）	ひつじ書房 1995	1
Shea, Virginia	ネチケット：ネットワークのエチケット	ひつじ書房 1996	1
城田俊	日本語の音：音声学と音韻論（言語学テキスト叢書）	ひつじ書房 1995	1
東海大学留学生教育センター	留学生の物理学（基礎科目シリーズ2）	東海大学出版会 1989	1
秋永一枝	東京弁は生きていた（ひつじ選書1）	ひつじ書房 1995	1
ユネスコ世界遺産センター	ユネスコ世界遺産 1 北アメリカ	講談社 1996	1
” ”	” ” 2 中央・南アメリカ	” 1997	1
” ”	” ” 3 西アジア	” 1998	1
” ”	” ” 4 東アジア・ロシア	” 1998	1
” ”	” ” 5 インド亜大陸	” 1997	1
Nakayama, Kaneyoshi	The beauty of Japan : a pictorial journey to Japan's cultural treasures.	Gakken 1990	1
Japan Echo Inc.	The Japan of today.	International Society for Educational Information 1996	1
Kubo, Miori	Japanese syntactic structures and their constructional meanings.	Hituzi Shobo 1994	1
Morikawa, Masahiro	A parametric approach to case alternation phenomena in Japanese.	Hituzi Shobo 1993	1
Nakayama, Kaneyoshi	Pictorial encyclopedia of Japanese culture : the soul and heritage of Japan.	Gakken 1987	1
Nakayama, Kaneyoshi	Pictorial encyclopedia of Japanese life and events.	Gakken 1993	1
Itani, Reiko	Semantics and pragmatics of hedges in English and Japanese.	Hituzi Shobo 1996	1
合 計			25

## 利用して下さい図書館所蔵CD-ROM

図書館では、ネットワーク対応型とスタンドアローン型のCD-ROMを提供しています。

図書館で利用できるスタンドアローン型CD-ROMは、図書館報でも随時紹介してきておりますが、追加分を含めた主なCD-ROMを再度ご紹介しますのでご利用ください。利用の際は、備え付け申込書に記入の上、カウンターで申し込みをして希望のCD-ROMを受け取り、情報検索コーナーまたはカウンター専用端末で利用してください。

### 図書の検索

J-BISC (国立国会図書館所蔵目録)

国立国会図書館に納本された国内刊行の資料に関するデータが検索できます。但し、逐次刊行物と非図書資料は除きます。1966年から現在までが検索でき、年6回の更新です。

国立国会図書館蔵書目録 明治期

国立国会図書館が所蔵する明治年間に刊行された和書、欧文図書と、大正期に及ぶ継続刊行図書などの目録情報。約11万件収録されています。

### 雑誌論文の検索

NDL CD-ROM Line 雑誌記事索引

国立国会図書館に納本されている国内で刊行された雑誌の内、記事・採録の対象として指定する雑誌に掲載された記事が検索できます。収録誌の総数は5,500誌以上です。収録期間は1985年から現在までで、年6回の更新です。

\* 図書館報No.88に紹介済み。

### 新聞記事の検索

CD-HIASK (朝日新聞全文記事情報)

1990年から1996年

朝日新聞の全文記事情報。東京本社発行の朝・夕刊最終版について、キーワード、見出し等で検索で

きます。大阪、名古屋、西部版も収録。画像データは含まれておりませんので、図書館所蔵の縮刷版をご覧ください。

CD-ASAX50yrs.戦後50年朝日新聞見出し

データベース1945-1989

朝日新聞の戦後50年分の記事見出し情報。4枚のCD-ROMに分割して収録されており、キーワードを入力すると、記事の掲載年月日、掲載面、縮刷版での掲載頁などが表示されますが、記事の本文は収録されていません。なお、図書館では1976年以降の縮刷版を所蔵しておりますので、縮刷版で本文を見ることが出来ます。

### 人物の検索

現代日本人名録

政治、行政、学術、スポーツ、マスコミ等のあらゆる分野から、現在活躍中・話題の人物10万5千人を収録しています。経歴、資格、受賞名等記載されています。

### 百科事典の検索

世界大百科事典 (百科年鑑・百科便覧・世界地図・日本地図含む)

平凡社「世界大百科事典全35巻」の情報を検索できます。索引数48万、文字数約7000万文字が収録されています。知りたいことがキーワード(索引・本文中)やジャンル・属性から検索でき、画像も豊富です。また、12年分の百科年鑑、約500点の資料、統計データの百科便覧も検索できます。

### 歴史の検索

世界歴史文化年表

「世界歴史大事典(全21巻)」から、約12400項目(関連イメージ約4000)を電子データ化したCD-ROMです。

平成11年度図書館カレンダー（その1）

曜日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
日					1 夏期休業日 ～ 9/30	
月					2	
火			1 鳥取大学記念日		3	
水			2		4	1
木	1 春季休業日 ～ 4/7		3	1	5	2
金	2		4	2	6	3
土	3	1	5	3	7	4
日	4	2	6	4	8	5
月	5	3 憲法記念日	7	5	9	6
火	6	4 国民の休日	8	6	10	7
水	7 入学式	5 こどもの日	9	7	11	8
木	8 前期開講	6	10	8	12	9
金	9	7	11	9	13	10
土	10	8	12	10	14	11
日	11	9	13	11	15	12
月	12	10	14	12	16	13
火	13	11	15	13	17	14
水	14	12	16	14	18	15 敬老の日
木	15	13	17	15	19	16
金	16	14	18	16	20	17
土	17	15	19	17	21	18
日	18	16	20	18 休日開館	22	19
月	19	17	21	19	23	20
火	20	18	22	20 休日開館 海の日	24	21
水	21	19	23	21 前期定期試験開始	25	22
木	22	20	24	22	26	23 秋分の日
金	23	21	25	23	27	24
土	24	22	26	24	28	25
日	25	23	27	25 休日開館	29	26
月	26	24	28	26	30	27
火	27	25	29	27	31 図書整理日	28
水	28	26	30 図書整理日	28		29
木	29 みどりの日	27		29		30 図書整理日
金	30 図書整理日	28		30		
土		29		31		
日		30				
月		31 図書整理日				

- (開館時間)
- 9:00～20:00
  - 10:00～17:00
  - 9:00～17:00
- 図書整理日  
(一般閲覧室・ブラウジングコーナーのみ開室)
- 休館日

鳥取大学附属図書館報 第93号 (1999年4月発行)  
 編集・発行: 鳥取大学附属図書館 〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101 ☎0857-31-6728  
 ホームページアドレス <http://www.lib.tottori-u.ac.jp>